

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	「声かけノート」「育成ノート」「個別研修ノート」「目標管理シート」が連動して職員一人ひとりを育成しています
	内容	「声かけノート」は担当職員が対象職員の日々の行動や事実に対して指導・助言をおこなうOJT活動の記録です。これらは「育成ノート」に褒める点と注意する点として集約され、本人の課題が明確に「個別研修ノート」に記載されています。「目標管理シート」では本人が自主的に設定したチャレンジ目標や特性に合わせた目標も設定しています。先輩が後輩を指導し、課題を明確にした研修計画が作成され、職員を目標に向けて成長させ・育成する仕組みが運用されています。また、昨年度からは契約社員にも個別研修シートの作成が始められた点も評価できます。
2	タイトル	受注した製品の作業を分析することで利用者の特性に合わせた工程に分解して興味・関心や適性に合わせた作業活動を提供しています
	内容	現在受注している製品は十数種類、工程にして30工程になります。作業は新聞のチラシの折り込みのような1日の仕事や箸の袋入れ、ボルト、ナットの組み込みのような1か月通しての仕事など千差万別です。それぞれの工程に対して障害の重い軽いで仕事を割り振るのではなく、働きたいという希望のある利用者の興味・関心や適性を判断して作業活動を提供しています。施設では働いて給料をもらうという一般社会の生活を作業所として支援しています。
3	タイトル	作業活動だけでなく、クラブ活動などの生活支援もおこない、利用者が主体的に事業所での時間を楽しめるようにしています
	内容	施設では、作業に集中し、意欲を持って取り組めるよう、作業活動だけでなく余暇活動を取り入れています。週1回、クラブの時間を設定し、音楽クラブや、創作クラブなど4つのクラブの中から自分の好きなクラブを選択し参加しています。また、調理活動や宿泊旅行、グループ外出、事業所の祭り、成人を祝う会等の行事を実施しています。利用者自治会があり、利用者が各種行事の企画・運営に参加するなど、主体的に施設運営に関われるように支援しています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	利用者支援のスキルアップの為に各種書類の書式を変更しましたが、その効果を検証すると共にさらに改善していくことを期待します
	内容	施設では前年度までに個別支援計画書やモニタリングの書式を変更して利用者本位の支援となるように計画を策定し、進捗状況が確認できるようにしました。また、アセスメントの書式も利用者要望が反映できるように作り変えました。しかし、この新しい書式が旧来のものと比べてどれだけの効果があるのか結果の検証が出来ていません。これらが形ばかりのものにならないように、より一層利用者支援に役立つツールとしてプロジェクトチームを組むなどして、必要に応じて実証・改善していくことを期待します。
2	タイトル	計画に対して着実に実行するため、効果的な進捗管理や書類の整備方法の改善には職員のスキルや認識向上が求められます
	内容	中期計画到達目標に基づき「平成27年度施設目標・実施計画」が作成されています。4つの経営課題にはサービスの質の向上・地域社会への貢献が32項目、財務基盤の安定化が3項目、人材育成が5項目、人事制度・法人の組織強化が3項目の合計43項目の施設目標が設定され、担当者、具体的計画、実施スケジュール等も含め計画は明確です。一方、施設長は計画に対して着実に実行するための進捗管理や書類の整備には不得手の所があると認識されています。効果的な進捗管理や書類整備方法について職員のスキル・認識向上についての改善が課題です。
3	タイトル	毎月の保護者会の方法について、保護者と話し合うことが期待されます
	内容	月1回保護者会を実施し、家族等と情報交換していますが、家族等の高齢化などにより保護者会への出席率が減ってきていて、事業所としても課題とらえています。利用者の高齢化に伴い、家族等との連携はさらに必要になっています。情報提供は、月末のおたより、保護者会資料、アンケートなど文書でも可能なこともあり、保護者会の内容も、連絡と報告だけでなく、行事や参観などと抱合せるなどの工夫が求められます。家族等の負担感を減らし参加率を上げるために、保護者会の方法について家族等と意見交換することが期待されます。